



その他の有害性情報 : 吸入または飲み込んだ場合有害である。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: ポリスチレンラテックス(ナノ粒子)
成分(1)	水
CAS 番号	: 7732-18-5
含有量	: 約 99 %
化学式又は構造式	: H <sub>2</sub> O
分子量	: 18.02
官報公示整理番号(化審法)	: -
官報公示整理番号(安衛法)	: -
成分(2)	: ポリスチレン
CAS 番号	: 9003-53-6
含有量	: 約 10 mg/mL
化学式又は構造式	: (C <sub>8</sub> H <sub>8</sub> ) <sub>i</sub> ; (i は重合度)
分子量	: 特定できない
官報公示整理番号(化審法)	: 6-120
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄する。医師に連絡する。
応急処置をする者の保護に必要な注意事項	: 救助者は個人用保護具を着用すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 初期消火として粉末、二酸化炭素、などの消火設備・器具で消火する。 水溶性液体用泡消火剤(耐アルコール泡)、二酸化炭素、粉末、砂、水。周辺火災適応消火剤
使ってはならない消火剤	: データなし
火災時の特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生することがある。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 水噴霧で冷却する。  
: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 床面に残るとすべる危険性が高いため、こまめに処理する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出した製品は、液体吸収剤(砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず)等に吸着させて空容器に回収する。

二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 (局所排気・全体換気等) : 容器の転倒、落下、引きずり又は衝撃を与え等の粗暴な扱いをしない。  
取扱う場合は、局所排気、又は全体換気の設備のある場所で取扱う。  
全体換気のある設備以外では取扱ってはならない。

安全取扱注意事項 衛生対策 : みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。  
: 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。  
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。  
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。  
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。

保管

安全な保管条件 : 直射日光の当たらない、4 °Cから 30 °C以下の清浄な場所に保管する。凍結は厳禁とする。

安全な容器包装材料 : ポリプロピレン

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度  
設定されていない

許容濃度  
ACGIH TLV-TWA : 設定されていない

日本産業衛生学会勧告値	: 設定されていない
OSHA PEL TWA	: 設定されていない
設備対策	
換気・排気	: 局所排気装置又は全体換気装置
安全管理・ガスの検知	: 測定器、検知管
貯蔵上の注意	: 床面に沿って換気。密封。可燃性及び還元性物質、強酸化剤から離しておく。
保護具	
呼吸用保護具	: 必要ない
手の保護具	: 必要ない
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

・物理状態	: 液体
・色	: 白色
・臭い	: データなし
・融点/凝固点	: データなし
・沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
・可燃性	: データなし
・爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
界	
・引火点	: データなし
・自然発火点	: データなし
・pH	: pH 6.7
・動粘性率	: データなし
・溶解度	: データなし
・n-オクタノール/水分配係数	: データなし
・蒸気圧	: データなし
・密度及び/又は相対密度	: データなし
・相対ガス密度	: データなし
・粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 300 °C以上に加熱すると分解し、スチレンなどの有害なヒュームを生じる。
化学的安定性	: 酸、アルカリに対して安定であるが油類に対する耐油性は弱い。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱、酸化剤との接触
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性(変異原性)	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

※有害性情報については、混合物としての情報がないため、原材料の情報より作成しています。本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: 微生物等による分解性はない。0%by BOD
生体蓄積性	: 魚介類の体内において、濃縮性または蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。
土壌中への移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

<u>国際規制</u>	
国連番号	: 該当なし
品名	: -

---

国連分類	: -
容器等級	: -
国内規制	:
陸上輸送	: 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う
海上輸送	: 船舶安全法、港則法に従う
航空輸送	: 航空法に従う

---

## 15. 適用法令

適応法令なし

---

## 16. その他の情報

### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

---